

かもめだより No.28

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2017年1月元旦
11月定例議会号
発行 市民クラブ
発行責任者 鈴木 秀郷

市民クラブ代表 鈴木より新年のご挨拶

謹んで年の初めのご祝詞を申し上げます。皆様には、ご家族そろって、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、4年任期の折り返し点を迎え、正・副議長をはじめとした議会人事の交代が行われました。

市民クラブでは、渡部議員が建設水道委員会の副委員長、梶議員が民生病院委員会の副委員長、深田議員が一般会計予算決算委員会の副委員長と議会活性化等特別委員会の委員長、霞議員が文教産業委員会 委員や沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会 委員、私も民生病院委員会の委員長に就任するなど、沼津市議会の中核会派として活動してまいりました。ここに深く感謝を申し上げます。

私たち、市議会議員は、自主自立の地域社会を目指し、沼津市の発展のため、研鑽と政策提言を行い「公正・公平な社会づくり」、「生活環境の整備」をはかり、住民の声を市政に反映し、地方議会の役割である政策形成能力と行政監督能力を十分発揮させることが大切であると考えております。今後も尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、明けた平成30年が、皆様にとりまして、明るく平和な年でありますよう、心より祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

会派 市民クラブ 代表 鈴木 秀郷

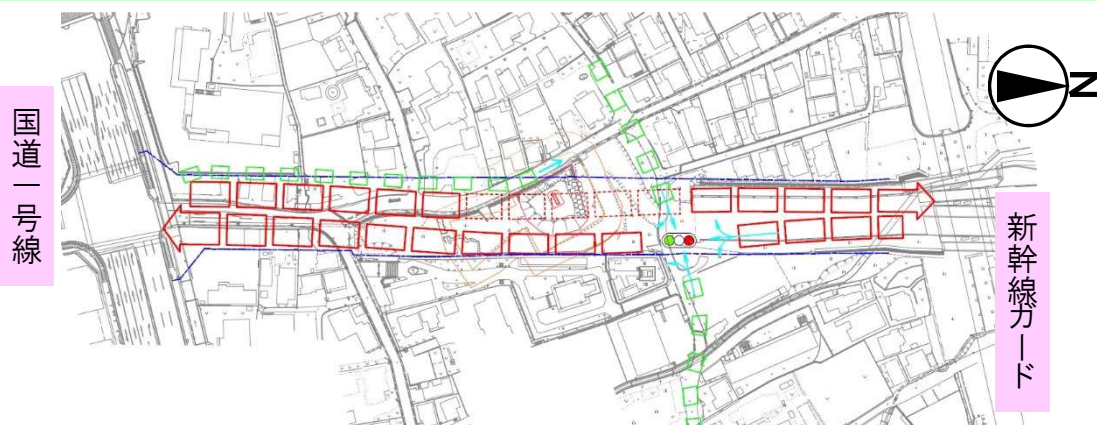


高尾山古墳と沼津南一色線の両立に向けた方針が示されました

12月21日(木)、全員協議会が開かれ「高尾山古墳と都市計画道路 沼津南一色線の両立に向けた方針」に関する当局からの説明と質疑が行われました。その内容についてご紹介します。

<示された案の概要>

- 東側2車線は「墳丘部と神社の間を橋梁で通過」、西側2車線は「墳丘部の下をトンネルで通過」
- 平成30年代中盤に東側車線を上下1車線で暫定供用、平成30年代後半に道路完成
- 事業費は35～40億円程度を想定（かつて検討していたT字案は5億円）
- 東西の地域内交通道路も信号で南一色線に接続（ただし、北方向へは進めず、迂回が必要）



所属議員の活動

11月議会での一般質問など、各議員の活動を紹介します。

市政のチェックと政策提言活動に邁進します！

副議長を辞任後、3回目となる11月議会へ臨み ①教職員の働き方改革(校務支援システムの最新化) ②学校施設の複合化 ③地域包括ケアシステムにおける認知症スクリーニングの導入推進の3点を質問しました。本年も、市政のチェックと政策提言活動に邁進していきます。



渡部一二実議員

企業の人材確保は「オール沼津」でチャレンジ！

企業で人材の確保が難しくなっている。少子化や高年齢者の退職をはじめ、求職者の売り手市場や県外で就職するなど、既に企業努力だけでは解決できない状況になっている。今こそ地域の産官学金が力を結集し、次世代を担う人材の確保に注力すべきである。



梶 泰久議員

あるべき学校図書館の実現に向けた枠組みづくりを！

学校図書館を活用した教育の推進の必要性と、学校司書の位置づけの重要性を踏まえた取り組みが必要だが、現状の本市の取り組みは十分ではない。あるべき学校図書館の実現に向けて、市立図書館や沼津教育振興会 図書館部会、学校司書らと更に連携した枠組み作りを。



深田 昇議員

めざすまちの形の実現に向けて、取り組みます！

今年も、子育て・教育のまち沼津をめざし、子どもたちに胸を張って誇れる沼津づくりに、皆様と手を携えながら取り組みを進めます。更には、高齢者の皆様が、安心・安全に生活できる様、皆様の思いに耳を傾けながら、高齢者に優しい沼津をめざします。ご理解 ご協力をお願いします。



霞 恵介議員

編集後記

道路と古墳の両立を目指す整備案が示されました。以降、関係者・関係機関との協議が進んでいきます。引き続き、安全対策や工期、事業費、古墳の活用等の様々な課題に、会派としても取り組んでいきます。

ホームページを覗いてみてください。

沼津市民クラブ

検索